



毎週土曜日 午後7時～9時
 場所：西合志図書館天文台
 参加費無料
 ※雨天・曇天の場合中止します。
 天候が優れないときは、来館前に電話で確認ください。

☆12月の星空☆

11日前後の明け方、南東の空低く木星と火星、水星が集まって現れます。18・19日には、これに下弦の織月とアンタレスが加わります。14日深夜を頂点にその前後ふたご座流星群が活発化。来年の願いごとをどうぞ流れ星に！31日の18～20時頃、月がすばる(プレアデス星団)を隠すすばる食が見られます。年越しの前に、ぜひ今年最後の天文現象の見納めを！

図書館掲示板

★西合志図書館 (☎242-5555)

♪マインドシアター(入場無料)♪

とき 12月23日(土) 午後1時～
 ところ 「西合志図書館集会室」
 題名 『くまのプーさん プーさんとふしぎな井戸』

♪おはなし会(入場無料)♪

とき 毎週土・日曜日 午後2時～
 12月2・3・9・10・16・17・24日
 1月6・7・13・14日
 ところ 西合志図書館「おはなしの部屋」

★合志図書館 (☎248-5754)

♪ふれあい映写会(入場無料)♪

とき 12月17日(日) 午後1時30分～
 ところ 「多目的研修室」合志図書館よこ
 題名 『ポーラー・エクスプレス』

♪ふれあいおはなし会(入場無料)♪

とき 毎週土曜日 午後2時30分～
 12月2・9・16・23日
 1月6・13日
 ところ 合志図書館「おはなしコーナー」

年末年始の開館・休館および資料の返却

西合志図書館・合志図書館・泉ヶ丘市民センター図書館

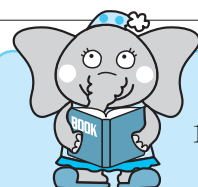
12月28日(木)～翌年1月4日(木) 休館

新年は1月5日 午前10時から開館します

休館中の資料の返却について・・・

図書・雑誌のみ、各館および須屋支所に設置している返却ポストへご返却ください。CDやビデオテープ、DVDなどの視聴覚資料は、破損の恐れがありますので返却ポストへは入れずに、必ず開館後カウンターまでご返却ください。

なお返却ポストですが、西合志図書館(正面玄関左側)および合志図書館(ヴィーブル正面玄関脇)は、年末年始の休館中24時間利用できます。なお、泉ヶ丘市民センター図書館および須屋支所については、施設閉庁中の12月29日(金)～1月3日(水)は利用できませんので、ご注意ください。



12・1月の休館日

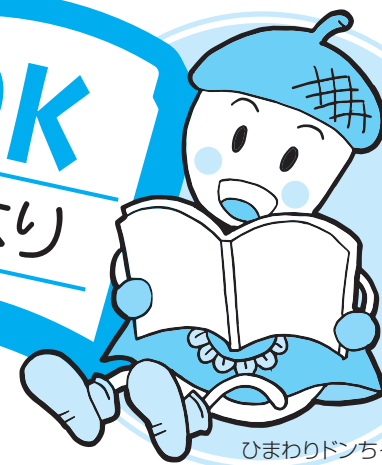
12月4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)・28日(木)～1月4日(木)
 1月9日(火)・15日(月)・22日(月)・29日(月)・31日(水)

移動図書館車

「ひまわり
 ドンちゃん号」巡回

現在、合生・須屋・野々島・上生を巡回しています。年間巡回予定表は西合志図書館・移動図書館車にあります。

BOOK
 図書館だより



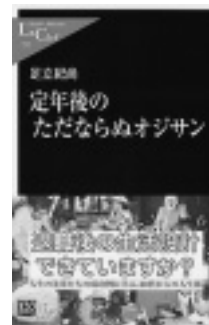
西合志図書館 (☎242-5555)
 合志図書館 (☎248-5754)

『定年後のただならぬオジサン』

定立 紀尚 著

来年からの団塊世代の大量退職。家族や地域、仲間など、会社員時代の常識は通じない、定年後の世界の生活を充実させるためには？

本書は、著者が長年取材してきた全国の「ただならぬ」定年シニアの活動を通して、その生活設計術の数々を「居場所」「仕事」「知恵と技」「若い」「専門家」の5つの切り口に分けて紹介した本です。



『クリスマスのまえのばん』(絵本)

クレメント・C・ムーア 詩/江國 香織 訳

トナカイのソリで空を飛び、煙突から家の中へ…。よく知られたこのサンタ像は、約180年前にムーアが発表した詩に由来します。

以来この詩を元にたくさんの絵本が作られてきましたが、本書は繊細で静ひつな絵と江國香織の抑揚を抑えた訳がよくマッチしています(他の翻訳者による絵本もお薦めです。ぜひ読み比べを！)



新刊お薦め本

新着本

一般書

- 『鯉浄土』 村田喜代子
- 『コレラ時代の愛』 G・ガルシア＝マスケス
- 『ガン闘病記』 中野 孝次
- 『静かなるホイッスル』 柴谷 晋
- 『戦国一孤かな男・山本勘助』 童門 冬二
- 『メタルカラー列伝 温暖化クライシス』 山根 一真
- 『安倍政権の日本』 星 浩
- 『おいしいチョコレートレシピ』 小田真規子
- 『「緊張」から自分を救う本』 松本 桂樹
- 『さいごの恋』 クリスチャン・ガイイ
- 『真実のイスラーム』 鈴木 鈺司
- 『地下鉄に乗って 特別版』 浅田 次郎

児童書

- 『現代ミステリー短編集2 西瓜流し』 阿刀田 高
- 『地下室からのふしぎな旅』 柏葉 幸子
- 『ウラナリは泣かない』 板橋 雅弘
- 『冬の籠』 藤江じゅん
- 『トーキョー・ジャンヌダルク1』 石崎 洋司
- 『ピエロのようせい』 新井 優子
- 『おおきなやかたのものがたり』(絵本) 青山 邦彦
- 『ふしぎなめいろ 新装版』(絵本) 深見 春夫
- 『ことばあそび玉手箱』 石津ちひろ
- 『戦国武将がわかる絵事典』 山村 竜也
- 『集英社版 学習漫画 中国の歴史』全10巻
- 『ほっきょくがとけちゃう! サンタからのSOS』



『無刀 -密命 父子鷹-』(密命シリーズ15)

佐伯 泰英 著

現代小説は、作品の状況をあまりに身近に感じ過ぎるため、読み続けるのが辛くなる時があります。なぜ自分は時代小説が好きなのか? 思い当たったのが、時代背景が違うため作品と適度に距離が保てる、あるいは自由に距離を決められる、それが心地良いからでは、ということでした。

佐伯さんの時代小説が売れているそうです。本書は、1999年に書き始めた時代小説の累計が、1000万部を突破した

記念作品ですが、先日の新聞ではもう1100万部になっていました。

佐伯さんの作品はテンポがいいのが特徴ですが、随所に見られる細やかな描写、魅力的な主人公と人情味あふれる脇役たち、迫力ある剣戟シーンと今回も見所満載です。読後感も重すぎもせず、軽すぎもせず、ちょうどよく気分をリフレッシュできそうです。本シリーズ、第1巻から読まれることをお勧めします。

今旬の本